

6. 救急科（当院救急科にて研修）

1. GIO(一般目標)

- ・頻度の高い救急疾患の診療、および重症患者の初療に必要な知識・技術・態度を身につける
- ・将来、地域医療に貢献できる医師になる

2. SBOs（行動目標）

- ・救急外来において、頻度の高い疾患の初期対応ができる
- ・重症患者の初療チームの一員として指示された診療行為が実施できる
- ・バイタルサインを把握し、緊急度・重症度のトリアージができる
- ・鑑別診断を上げ、検査・治療を系統立てて計画できる
- ・検査結果を評価し、診断に導くことができる。またその結果をコンサルテーションできる
- ・病状や治療計画を、相手の気持ちを考慮して説明できる
- ・自分の技量や、設備、環境による治療限界を知り、適切に紹介できる
- ・コメディカルの専門分野を尊重して協働できる

3. LS（方略）

- ・救急外来で上級医と一緒に診療を行い、検査計画や治療方針を一緒に検討する
- ・鑑別診断を上げるトレーニングを繰り返す
- ・画像診断結果や、生化学検査の結果を問診、身体所見と照らし合わせて上級医と評価する
- ・上級医と共に病状説明を行う
- ・必要時は適切な科へのコンサルテーションを行い、経過観察による症状の変化を評価する

1 週間のスケジュール（指導医の勤務状況により変化）

月曜日：救急診療 夜間診療 フィードバック

火曜日：救急診療 救急レクチャー 振り返りカンファレンス

水曜日：救急診療 救急ミーティング フィードバック

木曜日：救急診療 救急レクチャー 夜間診療 フィードバック

金曜日：救急診療 救急レクチャー フィードバック

土曜日：振り返りカンファレンス

4. Ev（評価）

救急診療における到達目標のチェックリストで評価する。